

令和7年度 学校関係者評価報告書

小中一貫校むくのき学園
大阪市立啓発小学校
大阪市立中島中学校
学校協議会

1 総括についての評価

- ・学校は概ね適切に自己評価を行っている。
- ・小中一貫校ならではの教員の連携が児童生徒にとって良い環境となっている。
- ・小中ともに達成できていない項目もあるが、概ね達成に近い。
- ・児童生徒のウェルビーイングの向上に取り組んでいる。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：

- ①安全・安心な教育の推進
- ②未来を切り拓く学力・体力の向上
- ③学びを支える教育環境の充実
- ④その他

- ・達成状況の評価に関しては妥当である。
- ・目標数値を達成していない項目もあるが、先生方は一生懸命に取り組んでいる。
- ・児童生徒に寄り添っている雰囲気为学校から感じられる。多様な対応が必要になっており、教職員は日々緊張感をもちながら学校運営を行ってくれている。
- ・働き方改革に学校全体として取り組んでいる。

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

○学校診断アンケートにおいて、「人を傷つけるような言葉や行動を許さない学年になっていると思う。(小学校)」の項目において、肯定的回答の割合を75%以上にする。

「学校は、いじめや暴力行為を許さない安心できる場所になっている。(中学校)」の項目において、肯定的回答の割合を85%以上にする。

(小) 81.7% (中) 80.3%

○学校診断アンケートにおいて、「むくのき学園の決まりを守っている。(小中学校)」の項目において、肯定的回答の割合を小学校95%、中学校85%以上にする。

(小) 90.6% (中) 92.3%

○人権教育推進にかかわる年間方針、人権教育確認事項をもとに、学校生活全般において人権を意識した教育を行い、人権課題に関わる取組を年間計画にそって各学年で取り組む。

人権課題に関わる取組を年間計画に基づいて各学年、小・中学校とも概ね計画的に進めることができた。また、小学校において、東淀川支援学校との交流を全学年にわたって実践することができた。どきどき四者発表会では、人権教育を軸とした取組を経て舞台発表につなげることができた。しかし、小中ともに人を傷つける発言や差別事象などが少数件あり、人権教育の実践が子どもたちに浸透しきれていない部分が見受けられた。

○学校診断アンケートの「自分にはよいところがある。」の項目において、肯定的回答の割合を小学校 88% 中学校 82% 以上にする。

(小) 88.8%、(中) 86.3%

○学校診断アンケートの「責任をもって係や当番活動をしたり、みんなと協力して清掃活動に取り組んだりしている (小学校)」、「学校のことを大切に扱い、自分の役割に責任を持ち、みんなと協力をして清掃活動に取り組んでいる (中学校)」という項目について肯定的な回答の割合を 90% 以上にする。

(小) 95.5% (中) 95.7%

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○算数・数学科プリント・デジタルドリルに取り組む。

年間目標 小学校 (低学年) …80 回、(中学年) …80 回、(高学年) …80 回
中学校…100 回

小中ともに達成できた。

○学校診断アンケートにおいて、「自分の考えをペアやグループ活動で説明したり話し合ったりしている (小学校)」、「授業では自分の考えを発表する機会がよく与えられている (中学校)」、「授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っている (中学校)」の項目において、肯定的な回答を 80% 以上にする。

(小) 87.1% (中) 94.0%、92.3%

○(小学校)学校診断アンケートにおいて「クラブ活動や体育の授業、休み時間など運動することは楽しい」の肯定的回答率を 90% 以上にできるよう運動への意欲を高める取組を実施する。

(中学校)学校診断アンケートにおいて「朝食を毎日食べている」の肯定的回答率を 80% 以上にできるよう、基本的な生活習慣の確立をめざした取組を実施する。

(小) 92.4% (中) 87.2%

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

○学習者用端末活用率表」における、児童生徒の学習者用端末 (クロームブック) の月別活用率を小中ともに 75% 以上にする。

(小) 80.1% (中) 77.9%

○中学校の学校診断アンケートの「ふだんから読書をしている」36.4%、「教室や図書室の本をよく利用している」22.1%の項目について (数字は令和 5 年度の肯定的回答率) それぞれ 2 ポイント増加させる。

前者は 35.9%、後者は 31.6%との結果となり、それぞれ 4.7%の減少、0.2%の増加

○毎月の「教員の一人当たり平均時間外勤務時間」の本校の平均時間 (累計) が、小中ともに昨年度状況を下回る。

(小) -6 時間 (中) +2 時間

年度目標：【その他】

○小中一貫教育の強みを最大限に生かす中で、ちがいを認め合い個性や能力を伸ばす教育の推進を図り、全市募集による入学希望者数を含め、新1年生の複数学級を維持する。

2学級の予定 (新1年生 38名予定)

3 今後の学校運営についての意見

- ・目標数値はあくまでも目標であり、達成できなかった項目の数値も目標値と大幅にかい離している数値ではない。引き続き、教員の負担軽減も考慮しつつ取り組んでいただきたい。
- ・地域として学校の目標や学校の様子を共有していきたい。
- ・教員不足が深刻な問題となっているなか、教員という仕事を魅力ある仕事になるようにしないと教育現場の疲弊は、子どもたちに悪影響となる。
- ・デジタル化が進む中、また、進めていかないといけない中、読書や手書きといったアナログとの併用をうまく指導して行ってほしい。
- ・小中一貫教育の強みを生かし、次年度も更に頑張ってください。